

# 香川県における国際化

## —25年の歩みと現状—

吉 岡 御井子

### 1 はじめに

近年、交通、通信手段の発達に伴い、人、物、情報の流れは地球規模で拡大してきている。国際社会における日本の役割は急速に高まり、かつては国家レベルで考えられていた国際交流は、地方、地域レベルで取り組む時代になり、また、人口減少や少子高齢化の進行、社会経済のグローバル化やボーダレス化の急速な進展により、国際的な人、モノ、情報の交流が活発化してきている。

香川県は、瀬戸大橋記念博覧会の収益金のうち、3億円の基本財産をもとに、1989年（平成元年）10月、財団法人香川県国際交流協会を設立、県内における国際交流活動の拠点として、香川国際交流会館・アイパル香川が整備され、民間交流団体や在県外国人・ボランティア支援事業等、香川の国際化の進展に向けた諸事業が積極的にスタートした。筆者も当時「香川の国際化を考える会」のメンバーで微力ながらアイパル香川の設立や事業活動にも関わった。

それから10周年、20周年の節目の年を迎えるごとに市町と連携しながら中国陝西省友好交流事業や国際化ネットワーク整備事業など「世界に開かれた香川を創造する」のテーマのもと多様な国際化民間活動が積極的に推進された。そして今年が25年目、同じく四国と本州を結ぶ瀬戸大橋が今春開通して25周年の節目を迎える。塩飽諸島などを10本の橋でつな

ぎ、鉄道と道路の併用橋としては世界最長の瀬戸大橋は香川だけでなく四国の経済や生活、文化を世界に繋ぐ架け橋であり広く知られている。諸外国から多くの観光客が訪れ、瀬戸大橋記念博覧会に多言語のボランティア通訳が大活躍し、各方面でニュースにもとりあげられたことが懐かしい。しばらくは観光客も多く脚光を浴びたが、一時は、外国人観光客の来県数も低くなり低迷した時期もあった。今回は、香川県発行「香川の国際化—データブック—」を参考に、25年間の国際交流の発展を調べ、これからの国際時代に備えて香川県はどのように対応していくのかを探る。

### 2 県内外国人登録者数・国籍別外国人登録者

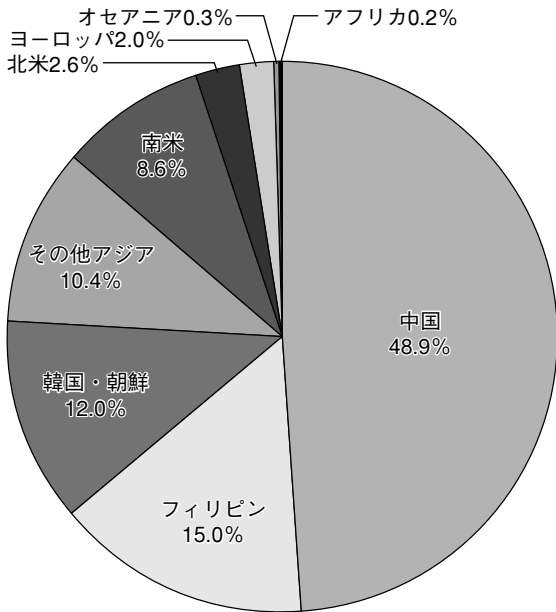
本県における外国人登録者数は、「登録外国人統計（法務省）」「香川県人口移動調査（香川県統計調査課）」の資料から平成5年は、3,323人、平成12年は、6,230人、平成22年末現在で8,389人となり、10年前と比較し約1.3倍の伸びとなっている。

外国人登録者の国籍は、「平成22年末現在で72カ国、アジア地域出身者が、全体の86%をしめている。平成8年までは韓国・朝鮮籍が最多であったが、平成9年以降中国が最多となり、現在では、全体の約半分を占め、全国平均の32.2%を大きく上回っている<sup>1)</sup>。」世界的な景気後退や観光事業の推進化で外国人住民の定住化は進むものと予想される。（図1）

### 3 市町別国籍別外国人登録者の上位5カ国

表1に示すように「市町別国籍別外国人登録者では、直島町、宇多津町、琴平町以外の市町におい

平成25年1月7日受理  
連絡先 〒769-0201 香川県綾歌郡宇多津町浜一番丁10番地  
香川短期大学 生活文化学科  
TEL 0877(49)8062 FAX 0877(49)5252  
Email miiko@kjc.ac.jp



出典：登録外国人統計（法務省）  
 出典：かがわ多文化共生推進プラン（香川県国際課）

図1 国籍別外国人登録者の構成比(平成22年末現在)

て中国国籍の外国人住民が1位となっており、直島町、宇多津町、琴平町でも2位に位置している。また、フィリピン及び韓国・朝鮮国籍についてもすべての市町において上位5カ国以内に入っている<sup>2)</sup>。」外国人住民が香川県内で安心して生活していくために、外国人の労働環境や外国人児童生徒の教育の見直しが必要であると同時に地域における草の根交流の担い手である様々な国際交流団体の役割が今後一層重要となる(表1)。

#### 4 受入先別留学生・就学生・研修員の数

香川県国際課の2002年度(平成14年)版の資料と2010年(平成22年)版香川の国際化 データブックの県内の留学生・就学生・研修員の数から、その当時の受け入れ態勢や状況が読み取れる。今後さらに、日本語教育の実施や日常生活上の助言等各種の支援活動が必要とされる。外国人住民と日本人住民が、互いの文化や生活習慣などを尊重し、認め合う多文化共生社会の時代到来である(表2)(表3)。

表1 市町別国籍別外国人登録者の上位5カ国(平成22年末現在)

	1位	2位	3位	4位	5位
高松市	中国	韓国・朝鮮	フィリピン	米国	インドネシア
丸亀市	中国	ペルー	フィリピン	韓国・朝鮮	ブラジル
坂出市	中国	インドネシア	フィリピン	タイ	韓国・朝鮮
善通寺市	中国	韓国・朝鮮	ブラジル	フィリピン	カンボジア
観音寺市	中国	インドネシア	韓国・朝鮮	フィリピン	米国
さぬき市	中国	フィリピン	韓国・朝鮮	ラオス	モンゴル
東かがわ市	中国	ベトナム	イタリア	フィリピン	韓国・朝鮮
三豊市	中国	フィリピン	韓国・朝鮮	ブラジル	インドネシア
土庄町	中国	フィリピン	韓国・朝鮮	ブラジル	タイ
小豆島町	中国	フィリピン	ペルー	韓国・朝鮮	インドネシア, 米国
三木町	中国	タイ	バングラディシュ	フィリピン	韓国・朝鮮
直島町	フィリピン	中国	英国	フランス, 韓国・朝鮮, タイ, 米国	
宇多津町	フィリピン	中国	韓国・朝鮮	ペルー	ブラジル
綾川町	中国	フィリピン	インドネシア	ミャンマー	韓国・朝鮮, タイ
琴平町	ブラジル	中国	韓国・朝鮮	ペルー	フィリピン
多度津町	中国	フィリピン	インドネシア	ペルー	韓国・朝鮮, ブラジル
まんのう町	中国	ブラジル	フィリピン	インドネシア	韓国・朝鮮

出典：「市町別国籍別外国人登録者数調査」(香川県国際課)

表2 在県留学生、就学生、研修員の状況

県内在住の留学生・研修員の数（2002年度）

（単位：人）

地域	機関（団体） 国名	香 川 大 学	香 川 医 科 大 学	四 国 学 院 大 学	高 松 大 学	瀬 戸 内 短 期 大 学	香 川 短 期 大 学	高 松 工 業 高 等 専 門 学 校	詫 間 電 波 工 業 高 等 専 門 学 校	学 校 法 人 穴 吹 学 園	香 川 県	香 川 県 教 育 委 員 会	高 松 市	綾 南 町	オ イ ス カ 四 国 研 修 セ ン タ ー	国 際 協 力 事 業 団 四 国 支 部	合 計
アジア	中 国	91	19	4	41	14	38			160	4		1	1			373
	カンボジア	4							1								5
	韓国	4		11						4							19
	香港									2							2
	マカオ	1															1
	台湾			2	1					1							4
	ラオス								1		1					5	7
	マレーシア	2						1	2							4	9
	インドネシア	2														4	6
	タイ	13								1						1	15
	フィリピン	1									1					9	11
	バンラデシュ	6	5						1							3	15
	スリランカ									3							3
	ベトナム	4							3	2							9
	モンゴル								2		1						3
ミャンマー															4	4	
シリア	2															2	
オセアニア	オーストラリア									1		1					2
	フィジー														3		3
	パプアニューギニア										1				5		6
南北アメリカ	メキシコ	1															1
	ドミニカ									1							1
	アメリカ									1		1	1				3
	ブラジル	1									2						3
	ボリビア									1							1
	アルゼンチン									1	1						2
	チリ	1															1
	パラグアイ										1						1
ペルー	1								1	1						3	
アフリカ	ウルグアイ		1														1
	タンザニア	1															1
	コンゴ	1															1
ヨーロッパ	エジプト	1															1
	ドイツ	3															3
	ポルトガル	1															1
	スペイン			2													2
イタリア			1						4							5	
合計		141	25	20	42	14	38	6	10	179	12	2	2	1	33	5	530

出典：「国際化の現状 2002年度版」（香川県）

表3 受入先別留学生・就学生・研修員の数

(単位 人)

年度	2003年 (H15)	2004年 (H16)	2005年 (H17)	2006年 (H18)	2007年 (H19)	2008年 (H20)	2009年 (H21)	2010年 (H22)
香川大学	159	192	188	181	170	158	148	171
香川医科大学	29	(統合)						
四国学院大学	22	19	13	21	22	21	21	17
徳島文理大学香川キャンパス							5	8
高松大学	82	112	121	117	83	61	57	62
瀬戸内短期大学	25	23	9	2	13	13	0	
香川短期大学	37	34	20	15	12	3	3	4
香川工業高等専門学校							11	8
高松工業高等専門学校	4	6	6	7	5	4	(統合)	
詫間電波工業高等専門学校	9	9	6	5	6	4	(統合)	
穴吹学園	160	129	92	56	81	119	145	157
香川県	13	11	7	8	3	10	11	5
香川県教育委員会	3	2	1	4	1	1	3	2
香川県国際交流協会					5	5	5	5
高松市	2	2	1					
綾川町							1	
綾南町	1	1	1					
オイスカ四国研修センター	30	33	31	22	23	29	30	25
計	576	573	496	438	424	428	440	464

出典：「香川の国際化 - データブック - 2010年度版」(香川県)

## 5 外国との姉妹・友好都市等提携の状況

香川県高松市は、1961年10月5日に初めて米国フロリダ州セント・ピーターズバーグ市と姉妹・友好都市提携をしている。1964年に善通市が米国アーカンソー州エルドラード市と提携し交流をはじめている。その後、瀬戸大橋が完成し、1988年、坂出市は米国カリフォルニア州サウスリート市と姉妹・友好都市提携を結び、筆者もボランティア通訳ガイドの代表者として式典、祝賀会に臨席した。また、同年瀬戸大橋は米国カリフォルニア州のゴールデンゲートブリッジと提携。県内の大学では「四国学院大学が1976年に初めて米国のオザークス大学と提携」<sup>3)</sup>している。香川短期大学は1989年5月10日に米国ハワイ州ウインドワード・コミュニティ・カレッジと提携し交流をはじめている。

その後、各市町村、各種交際交流協会や団体等の活発な活動で諸外国との友好親善都市交流が広がる。本学については、その後2004年1月20日英国ノーサンブリア大学と2009年12月7日中国江南大学国際教育学院と大学交流提携をしている(表4)。

「アイパル香川(香川国際交流会館)は、「香川県における国際交流の促進と異文化の理解を図るための施設で、県民と外国人との交流の場、国際交流に関する情報提供の場、国際理解のための会議・研修の場としての機能を備え、多様な国際交流活動等に利用できる<sup>4)</sup>。」「[「アイパル香川」とはアイ(愛、国際交流: International-exchangeの頭文字のI、情報: Informationの頭文字のI、私: I)、パル(友達、仲間)と、地名香川を合成したもので、国際交流に関係する人の拠点として、情報を交換する所、私と仲間が集う所というイメージを表している<sup>5)</sup>。]

表4 外国との姉妹・友好都市等提携の状況

団体名	提携先	提携日
香川県	中国陝西省	1994.4.22
高松市	米国フロリダ州セント・ピーターズバーグ市	1961.10.5
	フランスアンドル・エ・ロワール県トゥール市	1988.6.3
	中国江西省南昌市	1990.5.28
丸亀市	フィリピンリザール州バシッグ市	1971.11.4
	スペインギブスコア県サン・セバスティアン市	1990.11.6
	中国江蘇省張家港市	1999.5.28
坂出市	米国カリフォルニア州サウスリート市	1988.2.2
	米国ミシガン州ランシング市	1996.4.12
善通寺市	米国アーカンソー州エルドラード市	1964.9.30
観音寺市	米国ウイスコンシン州アップルトン市	1988.1.27
三観広域行政組合	中国山東省即墨市	2000.7.27
さぬき市	オーストリアブルゲンランド州アイゼンシュタット市	1993.10.11
三木町	カナダアルバータ州ディズベリー町	2009.4.28
直島町	カナダオンタリオ州ティミンズ市	1981.8.28
綾川町	中国河北省新楽市	1995.5.23
多度津町	中国上海市普陀区	2001.11.19
三豊市	韓国慶尚南道陝川（ハプチョン）郡	2007.7.13（1996.7.13）
	中国陝西省三原県	2010.5.19（2005.7.16）
	米国ウイスコンシン州ワウバカ市	1997.1.28
小豆島	ギリシャミロス島	1989.10.8
小豆島温泉観光 振興協同組合	豪州ノーザン・テリトリーエアーズロックリゾート社	2000.7.27
瀬戸大橋	米国カリフォルニア州ゴールデンゲートブリッジ	1988.4.5
	トルコイスタンブール市第二ボスボラス橋	1988.7.3
	北欧（スウェーデン・デンマーク）オーレスン橋	2008.5.24
高松市丸亀町商店街 (社)香川県観光協会	フランスパリ市カプシヌ通り 韓国(社)畿道観光協会	1988.4.28 2009.6.22
四国学院大学	韓国大田市韓南大学校	1978.12.15
	米国ワシントン州スポケーン市ホイットワース大学	1988.4.1
	米国フロリダ州セントピーターズバーグ市エッカード大学	1997.4.23
	米国モンタナ州ビルングス市ロッキーマウンテン大学	1997.9.18
	韓国全州市全州紀全大学	2000.10.20
香川短期大学	米国ハワイ州ウインドワード・コミュニティ・カレッジ	1989.5.10
	英国ノーサンブリア大学	2004.1.20
	中国江南大学国際教育学院	2009.12.7
学校法人穴吹学園	米国カリフォルニア州サンフランシスコHEALD INSTITUTE OF TECHNOLOGY	1988.4.5
	米国インディアナ州エバンスビル大学	1989.10
	豪州クイーンズランド州グリフィス大学	1991.1.30
	韓国釜山市学校法人東西学園・慶南専門大学	1991.11.22
	韓国釜山市学校法人東西学園・東西工科大学	1991.11.22
	英国ロンドンミドルゼックス大学	1995.3.15
	台湾新竹市私立忠信高級工商職業学校	1996.4.17
	豪州クイーンズランド州ボンド大学	1996.8.14
	台湾台北市私立喬治高級工商職業学校	1999.11.29
	台湾高雄縣私立中山高級商業職業学校	1999.11.30
	台湾台北市立松山高級商業家事職業学校	1999.12.1
	台湾台北縣台北縣立鶯歌高級工商職業学校	2006.6.20
	ロシアカムチャッカ市カムチャッカ国立大学	2006.10.25
	フランストゥール市トゥレーヌエステティック学院	2006.10.16
韓国ソウル市漢陽工業高等学校	2008.11.10	
三豊市立高瀬中学校	韓国ソウル特別市汝矣島（ヨイド）中学校	1994.6.4
仲多度郡多度津町立 多度津中学校	中国上海市宜川（ギセン）中学	1997.8.12

出典：「香川の国際化 - データブック - 2010年度版」（香川県）

2階の国際交流フロアには、各国の雑誌、新聞があり、インターネットでの発信も出来る。またボランティアによる日本語サロンの場としても活用されている。筆者は、(財)高松市国際交流協会事務局長の任務を平成9年から4年間預かり、国際交流の促進に寄与できるための立案等、また民間の交際交流団体の活動や連携、外国人相談窓口の設置など多くの事業に取り組んだ。主な事業の概要については、アイパル香川外国語講座やかがわ国際フェスタ(共催)を地域住民に国際理解を提供し、地域に根ざした国際化の進展を図るため、市町等が開催する講座等の講師として国際交流員を派遣した。グローバルセミナー海外留学・ワーキングホリデー情報フェアなどに関心のある人のためにそれぞれの資料を提供し、又、外国人のための人権法律相談が開設され、生活上の様々な疑問等について多言語で相談することのできる定期的に生活相談が開設された。国際理解教育に携わる人材の育成と国際理解教育の指導者の実践力の向上のため、ワークショップ、実践事例の紹介等を通して学校現場での国際理解を推進する必要が出てきている。国際理解講座・国際協力セミナー・通訳等ボランティア派遣事業・海外技術研修員受入事業・多文化共生のための「やさしい日本語」普及事業等が活発となってきている。

香川県国際観光の推進事業については、高松市林町の国内空港から、平成元年に、現在の香南町に高松国際空港が新しく整備、盛大な記念式典が開催された。平成4年に高松―ソウル線、アジアナ航空が就航し、国際線の第一歩をスタートしたのである。「新しい高松―ソウルチャーター便」の名前で旅行社が韓国ツアー勧誘に力を入れた時期でもある。その後、韓国から香川県へのビジターも増加して民間韓国国際交流も活発化する。そして、平成23年、高松―上海線、春秋航空の週3便の就航で中国との国際観光事業がスタートした。

外国人観光客の誘致促進については、韓国、台湾、中国をメインターゲットに旅行会社や観光マスコミ関係者の招聘、観光キャンペーンの実施、国際チャーター便の運航促進のための旅行会社への助成等を行い、外国人観光客の誘致を図っている。受入態勢の整備については、ウエルカムカード(外国人向け優待券)の普及や外国語表記の観光案内板の整

備等がすすめられている。

また、香川県の交通政策課によると、2013年3月には高松―台北線が就航の予定でありアジアとの国際観光事業のハード面は大きく前進している。香川県データブック2010年(平成22年)に登録されている香川県の国際交流・協力団体<sup>6)</sup>である。各団体の特色を生かした活動で韓国、中国、台湾との民間交流活動にもリンクして、香川県の経済効果の一助となり今後の香川県の国際観光事業に期待できる。

## 6 考察

急速な国際化の進展に伴い、地域レベルにおける県民の意識も向上して、県・市町・民間団体と連携しつつ世界に開かれた地域づくり、国際交流の輪が広がっている。昨年4月に財団法人香川県国際交流協会は公益法人香川県国際交流協会になり、さらなる国際交流を推進する中核的な組織の運営が期待される。

これまでの25年間で、国際化は非常に身近なものとなり、そのあり方も「国際交流」から「国際協力」へと新たな潮流が起き、国際交流活動も一段と多様化してきている。またアジア各国からの留学生や技能実習生、さらに南米からの労働者の入国も増加し、外国人登録者が増加の傾向にある。世界的な景気後退や東日本大震災の発生を受け、外国人住民を取り巻く環境や生活にも影響が及んでいる。文化や言葉、習慣などが大きく異なる外国人住民が、日本人社会の中に融け込み、地域社会の構成員として、共に生活できる多文化共生の社会づくりを目指していくことが求められる。香川県が策定した平成24年度から平成27年度の「かがわ多文化共生プラン」に期待する。またこれからの国際交流の在り方について、地方自治体における国際交流の形態は多様化の様相を呈しつつ、一部地域で活発な戦略的交流の実績があるものの、旧態依然の手法や形式的な交流が主流で、進展性の高い事業にうまく結びついていない。そのような現状を踏まえ、県内から海外へ目を向け、広く海外の関連機関や自治体、大学が展開する先駆的な国際交流事例を参考にして、今後の香川県の国際交流の発展につながるヒントを探る必要が

ある。

2013年3月20日から、瀬戸内海の島々を舞台にした第2回目の「瀬戸内国際芸術祭2013」が開催される。新しい国際交流、国際協力の時代の到来である。これまでの25年の熱く力強い国際交流化のステップから、これからの時代のニーズに合わせた行政事業や民間活動をいかに充実させるか再考の時期である。「国際交流」から「国際協力」へと移行している時代にあわせ、改めて香川県を新しい形で発信していく良い機会である。また各国からの留学生や技能実習生、日系労働者などの入国が増加しており外国人住民を取り巻く環境や生活にも変化が生じて多文化共生の社会づくりを目指していくことが望まれる。これからは、国際理解のための目的・在り方・手法等を研究実践することにより、国際交流・協力活動に理解を示してくれる人材を増やし、より一層の国際化を進展させる時期にきている。国際理解のための開発教育のセミナーや研究会が活発に実施されることで、異文化理解教育が前進し、多文化共生社会づくりへの理解も深まると考える。

## 7 おわりに

瀬戸大橋架橋記念博覧会が1988年3月20日～8月31日まで開催され、この事が契機となり、翌年、自治大臣より香川県国際交流協会としての認定を受け、本格的な国際交流の第一歩を踏み出した。以来25年に渡り、民間の国際協力団体及び自治体の協力により、香川県は今日の国際時代の基盤を創り上げることができた。

今回の報告作成に当たりご協力をいただきました香川県総務部国際課に、心より御礼申し上げます。

## 引用文献

- 1) 香川県, 2012, かがわ多文化共生推進プラン, 3, 9-13
- 2) 香川県, 2012, かがわ多文化共生推進プラン, 4, 11-15
- 3) 香川県, 2002, 国際化の現状, 13, 24
- 4) 香川県, 2010, 香川の国際化—データブック—, 75, 2-4

5) 香川県, 2010, 香川の国際化—データブック—, 75, 6-8

6) 香川県, 2010, 香川の国際化—データブック—, 86-91

## 参考文献

- 1) (財) ラボ教育センター, 1987, 日米国際教育フォーラム報告書
- 2) (財) 香川県国際交流協会, 1990, 世界の仲間と歩んだ10年
- 3) 吉岡御井子, 2000, 世界に開かれた都市・高松を目指して, 四国新聞社四国プランチ
- 4) (財) 香川県国際交流協会, 2005, 国際理解のための開発セミナー
- 5) 香川県総務部国際課, 2007, 外国人住民と共に暮らす香川づくり推進計画
- 6) 香川県総務部国際課, 2006, 香川県「女性友好の翼」報告書
- 7) 平野健一郎, 2008, 国際文化論, (財) 東京大学出版会
- 8) (財) 自治体国際化協会, 2011, 自治体国際化フォーラム vol. 264